

令和元年度社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I 総務課

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせるための支援とし、地域福祉活動では地域住民が相互に支え合える地域づくりのため、ふれあい地区社協活動を中心とした見守り活動や公民館活動への支援を行いました。

また、様々な問題が複合して起こる生活上の問題に対応するため、関係機関と連携を図り引きこもりや社会的孤立の問題、権利擁護、生活困窮、子育て世帯、青少年の不登校やいじめなど日常生活に不安を抱えている方へ寄り添いながら支援を行いました。

1 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会

回数	日時	提出議案
第1回	5月20日(月) 決議の省略の方法により行う	・役員(理事及び監事)候補者の推薦について
第2回	5月31日(金) 午前9:00～	・平成30年度会計予算流用について ・平成30年度事業報告及び決算について ・令和元年度定時評議員会の開催について ・平成30年度日赤募金会計決算について
第3回	6月17日(月) 決議の省略の方法により行う	・会長及び副会長の選任について
第4回	7月18日(木) 決議の省略の方法により行う	・就業規則の一部改正(案)について
第5回	3月17日(火) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置として、決議の省略の方法により行う	・令和元年度会計予算流用について ・退職手当の支払いに伴う予算の専決補正について ・広域配分金の決定に伴う予算の専決補正について ・令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について ・令和元年度第2回評議員会の招集について ・令和2年度日赤募金会計予算(案)について

(2) 評議員会

回数	日時	提出議案
第1回 定時	6月14日(金) 午前10:00～	・平成30年度事業報告及び決算について ・新役員(理事、監事)の選任について
第2回	3月31日(木) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置として、決議の省略の方法により行う	・令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について

(3) 監査

回数	日時	内容
第1回	5月16日(木) 午後1:30～	・平成30年度決算に係る監査

II 地域支援の重点事業の成果及び実績

1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進

ふれあい地区社協の活動に対し支援を行いながら、住民主体による課題の解決をするため地域福祉活動の推進に努めました。

(1) ふれあい地区社会福祉協議会

ア 役員会・代表者会議

区 分	日 時	場 所
第1回役員会	4月11日(木) 午前11時～12時	ふれあいセンター
第2回役員会	8月28日(水) 午前10時～11時	
第3回役員会	12月19日(木) 午前10時～11時	
第4回役員会	3月5日(木) 午前11時～12時	
第1回代表者会	5月10日(金) 午前10時00分～11時	
第2回代表者会	9月19日(木) 午前10時00分～11時	

イ ふれあい地区社協校区别研修会

日 時	校 区 (場 所)	参加 者数	研修会内容
9月7日(土) 10:00～11:30	六栄校区 (地域福祉センター)	46人	講演会 演題:「幸福で健康寿命をのばそう」 講師:米田 照代氏
9月21日(土) 10:00～11:30	長洲校区 (町民研修センター)	70人	
10月12日(土) 10:00～11:30	清里校区 (梅田区公民館)	27人	
10月19日(土) 10:00～11:30	腹赤校区 (上沖洲区公民館)	64人	

ウ ふれあい地区社協合同研修会開催

地域住民相互の親睦と融和を深め、より一層ふれあい地区社協活動に取り組めるよう講演会や各地域の活動報告を行いました。 総参加者数 185人

日時・場所	内 容
11月29日(金) 午後1時～ 午後3時40分 ながす未来館	講 演 演題:「地域の絆づくりについて」 講師:社会福祉法人 慈愛園 理事長 潮谷 義子氏 ご長寿早押しクイズ 参加者17人 抽選会 賞品本数 24本 地域物産店参加地域 赤崎区 高田区 永方区 鷺巣区 向野区 西新町区 腹赤区 大明神区

(2) ボランティアセンター事業の推進

ア ボランティア活動育成事業

(ア) ボランティア協力校指定事業 町内小学校4校 中学校2校

(イ) ボランティア団体活動支援金の助成 3団体

(ウ) クリーンウォークの実施(共催:長洲町手をつなぐ育成会)

・日 時 11月4日(月)9時～10時30分

- ・実施場所 国道 501 号線沿い及び中道児童公園から町役場周辺
- ・参加人数 85 人 (長洲 45 人 ひまわりの里 40 人)

(エ) メイクアップボランティア活動実績

a メイクアップ教室

- ・開催地区 12 地区 ・参加者 延べ人数 142 人
- ・活動ボランティア延べ人数 62 人

イ 総合学習

ボランティア協力校からの依頼に対し、福祉を身近に感じる体験学習を行うため、依頼内容に合わせた講師の紹介や、社協職員の指導による車いす操作体験などを行い、福祉教育の推進を図りました。

期 日	内 容	学校名	講 師	参加者数
6 月 28 日 (金)	車いす体験・高齢者疑似体験	腹赤小学校	社協 職員	31 人
9 月 18 日 (水)	車いす体験・高齢者疑似体験	長洲小学校		25 人
9 月 20 日 (金)	車いす体験・高齢者疑似体験	長洲小学校		26 人
9 月 24 日 (火)	車いす体験	六栄小学校		38 人
11 月 14 日 (木)	車いす体験	長洲中学校		42 人

(3) 児童・青少年福祉活動

ア 新小学一年生への援助

入学児童 135 人分の入学祝として (2B えんぴつ) を贈呈しました。

イ 子どもデイサービス事業

- ・月 日 7 月 29 日 (月) 30 日 (火) (2 日間)
- ・参加者 小学生 22 人 学生ボランティア 12 人

(4) 各団体への支援活動

期 日	内 容	支援団体	場 所
5 月 25 日 (土)	熊本県障がい者グラウンドゴルフ大会協力援助	身体障がい者 福祉協議会	阿蘇市 農村公園あびか
8 月 3 日 (土)	夏祭り出店協力及び職員派遣等支援	ひまわりの里	腹赤小学校 グラウンド
9 月 25 日 (水)	長洲町老連体育祭協力援助	老人クラブ連 合会	長洲町総合スポー ツセンター
10 月 29 日 (火)	玉名郡身体障がい者球技大会協力援助	身体障がい者 福祉協議会	長洲町総合スポー ツセンター

2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実

(1) 心配ごと相談所

毎月第 3 火曜日に弁護士による相談所を開設しました。 (単位：件)

相談 内容	住宅	家族	老人 福祉	結婚	離婚	人権	財産	事故	心身 障がい	その 他	合計
件数	2	3	1	1	4	5	7	2	1	7	33

(2) 生活福祉資金貸付・小口貸付

低所得・障がい者・高齢者世帯等に、県社協の資金貸付事業の「生活福祉資金貸付事業や本会の小口資金貸付事業「福祉金庫」で経済的に支えるとともに、生活の

安定や自立支援に向け対応しました。

ア 生活福祉資金貸付事業

(単位：件)

種 別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	他制度等 繋ぎ	対象外・ 相談のみ
福祉資金貸付	1	0	0	0	1
教育支援資金貸付	2	0	0	1	1
総合支援資金貸付	2	0	0	0	2
緊急小口（特例貸付）	8	0	0	4	4
不動産担保資金	0	0	0	0	0
計	13	0	0	5	8

イ 福祉金庫貸付事業

(単位：件)

種 別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	不承認 件数	取下げ 件数	対象外・ 他制度等
福祉金庫貸付	10	4	3	0	1	6

3 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分で日常生活を営むのに支障がある方に対して、安心して暮らせる環境整備、生活支援等により生活上の安定及び負担の軽減に努めました。（単位：人）

実利用 者数	年度当初 利用者数	新規契約	契約 解除	支援 員数	対応回数（回） （支援員・職員対応）
13	11	4	2	5	966

※ 実利用者数内訳 認知症 10人 知的障害者 2人 その他 1人

4 安心よりそい生活支援

地域福祉権利擁護事業の補完的サービス、または対象外の方も利用できるサービスとして預かりサービスを平成26年4月1日より、平成31年度からは安心よりそい生活支援として実施しております。（単位：人）

実利用者数	年度当初 利用者数	新規契約者	契約解除者	対応回数（回） （職員対応）
8	8	4	4	555

5 赤十字講習会

(1) 日赤奉仕団の講習会開催

赤十字奉仕団としての自覚を促し、意識の高揚を図るとともに、活動するために必要な知識と技術を身に付けることを目的に開催しました。（単位：人）

期 日	内 容	講 師	参加者数	場 所
6月23日(日)	災害対応カードゲーム形式による防災教育	長洲町防災士機構	36	中央公民館

6 受託事業

(1) 安心生活基盤構築事業

日常生活を送る上での困りごとの解消を図るため、地域住民相互の支え合活動の一つとして有償ボランティア「ささえあい」事業を展開しました。

ア 協力会員交流研修会 10月26日(金)参加者32人

イ 有償ボランティア利用実績報告 (単位:件)

利用内容	利用件数	利用内容	利用件数	合計
掃除・片付け	80	買物	75	896
ゴミ出し	740	薬の受取	1	

※ 協力会員活動実人数 23人 利用会員利用実人数 27人

ウ 有償ボランティア「ささえあい」事業地域説明会 5地区 5回

エ 令和元年度新規登録者数 協力会員数 2人 利用会員数 8人

辞退 1人 辞退 6人

累計 協力会員数 115人 利用会員数 62人

(2) 生活困窮者総合相談支援事業

生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日に施行され、生活保護に至る前から生活困窮者の相談に対応し生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、困窮状態から早期に脱却することを目的に包括的な支援に取り組みました。

・前年度からの継続 18件(内 継続支援中 9件 他機関へ繋ぐ3件 終結 6件)

・新規相談件数 19件(内 継続支援中 14件 他機関へ繋ぐ1件 終結 4件)

(3) 緊急対応生活支援事業

緊急的かつ一時的に食材や日用品等の生活に必要なもの確保できなくなり、生命が脅かされる恐れとなった場合、現物支給し他の制度に繋ぎ生活再建の支援を行ないました。

・支援件数 合計8件 ・食材費 855円/1件 ・備蓄食材配布 7件

7 子育て支援・児童健全育成事業の推進

(1) 子育て支援センター事業

子育て支援の拠点として、子育てに関する関係機関との調整を図り、相談や指導を行い、孤立しがちな子育て期の親子が安心して過ごせる場所の提供や同世代の子を持つ親同士の情報交換や相談、交流をできるように「にこにこサロン」及び「1歳の誕生会」その他を開催しました。

また、子育て支援センターの行事や内容を周知する為、情報誌「にこにこ通信」の発行や、「愛情ねっと」「母子モ」の配信を行い、多くの町内の方に「子育て支援センター」を知っていただけるように、行事内容を充実させ実施しました。

開館日数	利用者延人数	一日平均利用者
274日/年	幼児 3,840人、 大人 2,857人	幼児14名 大人10人

※令和2年3月2日～3月31日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館

ア 各種行事 (開催場所:子育て支援センター)

期 日	行事内容及び参加者数
毎月 第1木曜日 (変更有)	◆にこにこサロン 4月:子育て講演会 5月:幼児安全法 6月:風鈴をつくろう 7月:七夕 8月:水遊び 9月:ミニ運動会

年間 全 16 回	◆イザベラ先生の英語教室 大人 90 人、 幼児 113 人
随 時	◆地域支援活動として乳幼児健診支援「2 か月広場」に出向いて、子育て支援センターの周知活動を行う。

(2) ファミリーサポート事業

幼児・児童を子育て中の保護者が「安心して楽しく子育てができるよう」援助を受ける方と、援助を行う方との会員登録制度による相互援助活動により、家庭的保育の支援を行う体制をとりました。

(3) 児童館事業

児童に健全な遊びの場を与え、健康を増進し、情操を豊かにしつつでも気軽に利用できる環境づくりに努め、児童館の周知や各機関との連携を図りながら少年期の子育て支援を行いました。

期 日	行事内容及び参加者数	
5 月 12 日 (土)	◆児童館まつり 大人 59 人、 児童 97 人、 幼児 49 人 中学生ボランティア 16 人 高校生・大学生ボランティア 23 人 計 244 人	
年 10 回	◆児童館クラブ 会員数 31 人 6 月：交流会 7 月：フォトスタンド作り (豊野少年自然の家出前講座) 8 月：ミニ夏まつり 9 月：絵付け教室 10 月：マジックショー及びマジック教室 11 月：ダンス教室 12 月：クリスマス会 1 月：パンづくり 2 月：バス旅行 3 月：玉名郡市児童館交流会&お別れ会 ※2 月・3 月は新型コロナウイルス感染拡散防止のために中止	
毎月 1 回	◆ビデオシアター (ビデオ鑑賞会) 延利用者数： 児童 73 人、 幼児 8 人、 中学生 1 人、 大人 31 人 場 所： 中央児童館	
6 月 22 日 (土) 10 月 19 日 (土) 12 月 14 日 (土)	◆レッツプレイ トランポリン教室： 会員 20 人 子ども ヨガ教室： 会員 12 人 レクリエーション： 会員 9 人	講師： 中尾 由美氏 藤本 喜美氏 豊野少年自然の家 より 芦江氏
7 月 31 日 (水) 11 月 16 日 (土)	◆カルチャー教室 料 理 教 室： 児童 12 人 ハーバリウム教室： 児童 16 人	講師：すこやか館栄養士 柿沼 尚子氏 磯田 美紀氏
6 月 30 日 (土)	◆人形劇鑑賞会 (世代間交流事業) ※子育て支援センターと合同 参加者： 児童 25 人 演 題：「いっすんぼうし」	人形芝居劇団 かすぺる

9月22日(土)	◆コンサート(世代間交流事業) ※子育て支援センターと合同 参加者:児童 12人 内 容:ピアノ・オーボエ・ トロンボーンコンサート	講師: 酒井 円香氏
1月6日(月)	◆新春書初め大会 参加者:児童 33人	講師: 竹本みどり氏
夏休み期間中	◆出前講座(長洲町内小学校学童) ・夏休み期間中 六栄・腹赤・長洲・清里小学校の学童へ出向いて製作の指導を行う 参加者:学童児童 104名 内 容:色合わせパズル制作	

IV 地域包括支援課

1 包括的支援事業(地域包括支援センター)

(1) 介護予防ケアマネジメント業務

ア 地域住民の健康維持・増進を目的とし、低栄養や口腔ケアの重要性を含めたフレイル予防について周知や講話を行いました。

(※フレイルとは、加齢により心身が老い衰えた状態のこと)

日付	行政区	内容
6月28日	下本区	フレイル予防についての周知
6月28日	新町区	フレイル予防についての周知
8月27日	介護予防拠点連絡協議会	フレイル予防についての周知
9月14日	建浜区	フレイル予防と長寿のポイントの講話
10月12日	長洲上区	フレイル予防についての講話

イ 介護予防ケアマネジメントケアプラン件数 994件/年間

ウ 町集団健診時に基本チェックリストの聞き取りを879名へ実施。(6月5日から6月14日まで10日間実施) その中で基本チェックリスト該当項目の多いハイリスク者に対しては、個別訪問を行い、げんきの館やげんきあっぷ教室等の紹介を行いました。

(2) 総合相談支援業務

相談方法	相談回数(回)
来所	690
電話	1,496
訪問	834
情報提供	313
メール	14
その他	73
合計	3,420

相談内容	相談回数(回)
介護に関すること	791
介護保険に関すること	773
地域支援事業に関すること	348
健康管理や医療保険に関すること	769
福祉サービスに関すること	111
日常生活に関すること	412
高齢者虐待に関すること	71
権利擁護・成年後見に関すること	115
消費者被害に関すること	20
長洲町見守りネットワークに関すること	10
合計	3,420

相談者	相談回数 (回)	相談者	相談回数 (回)
本人	950	区長	103
家族	689	近隣	49
関係機関(行政・社協)	372	医療機関	107
ケアマネ・介護サービス事業	476	その他	440
民生委員	234	合計	3,420

(3) 権利擁護業務

ア 相談対応

(単位：件)

相談内容	高齢者虐待	権利擁護・成年後見	消費者被害
相談件数	71	115	20

イ 高齢者虐待に関する対応・会議

高齢者虐待に関しては、本人及び関係者への聞き取りによる事実確認及び対応を行った事案が1件、緊急性を判断する会議を実施して対応方針を決め、対応した事案が7件ありました。

ウ 権利擁護・成年後見に関する取り組みについて

多職種連携研修会

- ・日 時：4月19日（金）午後7時00分から8時30分
- ・テーマ：「高齢者虐待対応を通して被虐待者と養護者の支援を考える」
- ・講師：熊本県社会福祉士会 社会福祉士 木島 ひとみ 氏
- ・参加者：医療・法律・警察・金融機関・郵便局等関係機関・長洲町介護サービス事業者連絡協議会会員・行政・社協職員 計57人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、以下の支援を行ないました。

ア ケアマネジャーの技術向上のため日常的個別支援

イ 支援困難事例等への指導・助言など

ウ 支援回数 延べ161回

(単位：回)

支援内容	延べ回数	支援内容	延べ回数
ケアマネジメント支援	65	包括内連携	23
主治医連携	3	社会資源の紹介	7
制度説明・確認	10	対人援助技術	18
個人の悩み事相談	10	研修・学習	0
その他	19	同行訪問	6

エ 研修会の開催

(ア) 介護支援専門員研修会

- ・日 時：9月19日（木）午後1時30分から3時00分
- ・テーマ：「高齢者とペット」
～高齢者とペットが幸せに暮らせるために支援者ができること～
- ・講師：増子 元美 氏（動物看護師）
- ・参加者：介護支援専門員、介護サービス事業所、行政、包括など 計30人

(イ) 多職種連携研修会

- ・日 時：令和元年10月18日（金）午後7時00分から8時30分
- ・テーマ：「脳の進化から学ぶ、認知症の理解と対応」
～脳の進化がわかると、「だからそのような症状が見られるのか」がわかる～

- ・講師：ふじさわクリニック院長 藤沢 和久 先生
- ・参加者：医療機関、消防・金融機関、介護サービス事業所、社協、行政、包括など計91人

(5) 認知症総合施策事業報告

ア 認知症サポーター養成講座開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、認知症を正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーターの養成を実施しました。

また、認知症サポーター養成講座に伴うキャラバンメイト意見交換会を6月に開催し、サポーター養成に関する方向性などを共有しました。

なお、3月には民生委員・児童委員協議会、JA たまな長洲支所、デイサービス道楽において、養成講座を予定し、準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の対策のため、開催を延期しました。(単位：人)

期 日	対象者	参加人数
9月5日(木)	腹赤小学校6年生	38
9月24日(火)	腹栄中学校1年生	69
11月19日(火)	六栄小学校6年生	38
11月26日(火)	松原区 高齢者一人暮らしの集い	11
12月6日(金)	元気アップリーダー フォローアップ	28
合 計		184

イ 認知症カフェの開催の支援

町内4事業所(月華苑、心の花、せいわながすの里、げんきの館)で開催されている認知症カフェについて、内容の検討や当日の準備、運営と関わりながら支援をしています。また、認知症カフェの内容の充実を図るために情報交換会を9月に行いました。

ウ 認知症の人に対する声かけ・搜索模擬訓練の開催

認知症の人への接し方や対応を学び、行方不明者発生時を想定した搜索・通報の訓練も合わせて実施することで、認知症の人やその家族を地域で見守り、支援の輪を広げることができました。

- ・開催日 6月23日(日)
- ・内 容 認知症の人に対する声かけ模擬訓練 in 古城
- ・参加者 58人

エ 認知症初期集中支援チーム

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供の早期診断・早期対応を目的とした支援をしました。

また、チーム員会議として、月1回、町と包括、チーム員で情報共有や支援方針の確認などを行いました。会議の内容や支援に関する相談などに関しては、認知症サポート医(淡河・黒田医院 黒田医師)とも連携をしました。

- ・新規相談数 5件
- ・訪問回数 43回

オ 認知症家族の会「つどい」への参加

認知症の人とその家族の会主催の「つどい」長洲エリア開催時(6月・10月・2月)に参加し、介護者家族やその支援者との情報共有や、包括として介護に関する情報提供などを行いました。

(6) 地域ケア会議の開催

ア 自立支援型地域ケア会議の開催(定例開催)

町内の全ての介護支援専門員に毎事例を提供いただき、事例の課題に対して、専門職からの助言を受け、利用者の自立支援につながるケアプランやサービス事業所のプログラム提供を目指しました。

- ・開催日：毎月第3（水）
- ・開催数：年間11回開催（3月は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
- ・事例数：21事例

イ 個別課題の地域ケア会議

困難事例等、個別の課題に対し、関係者や専門職、行政と共に課題解決に向けた会議を開催し、情報共有やネットワーク化を目指しました。

- ・開催日：困難事例発生時に随時開催
- ・開催数：1回
- ・事例数：1事例

ウ 自立支援型地域ケア会議に関する研修会開催

- ・日時：令和元年5月25日（土）午後1時30分から3時30分
- ・テーマ：地域ケア会議の上手な活用方法

～利用者、ケアマネ、事業所、行政、みんなが喜ぶ地域ケア会議を目指すには～

- ・講師：金子茂稔氏 株式会社 未来 labo
- ・参加者：39人（介護サービス事業所・介護支援専門員・行政等）

(7) 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局

ア 研修会等

4月24日（水）	平成31年度介護サービス事業者連絡協議会総会
7月24日（水）	「動き出しは当事者から」研修会
7月25日（木）	その人らしい生活実践ネットワーク リーダー研修会①
11月27日（水）	その人らしい生活実践ネットワーク リーダー研修会②
11月27日（水）	「動き出しは当事者から」実践報告会

イ 役員会

年間2回開催し、事業の打ち合わせや情報共有を図りました。

2 指定介護予防事業

介護保険認定の要支援1・2を受けた高齢者に対して、自立支援型の介護予防サービス計画書の作成を行い、また、介護予防・日常生活支援総合事業等への移行支援を行いました。

ア ケアプラン作成件数（単位：件）

年度	包括（単独）他	委託
30年度	916	246
31年度	1,014	236
増減	98	▲10

※委託先の居宅介護支援事業所：
町内3事業所・町外3事業所
計6事業所

3 生活支援体制整備事業報告

(1) 介護予防リーダー養成事業

ア 元気あっぷリーダー養成講座

講師：有明圏域リハビリテーション広域支援センター

理学療法士（3人） 北尾昌平氏・寺本さおり氏・宮本彰吾氏

(ア) 五期生養成講座 養成人数 19人

養成講座：4月17日(水)から6月12日(水)全8回

準備講座：6月17日(月)から6月28日(金)までの希望日全2回

(イ) 六期生養成講座 養成人数 10人

養成講座：9月5日(木)から10月24日(木)全8回

準備講座：10月28日(月)から11月1日(金)までの希望日全2回

イ 元気あっぷリーダーのフォローアップについて

(ア) 元気あっぷリーダー情報交換会・交流会

(単位：人)

区分	期 日	内 容	参加者数
第1回	5月21日(火)	DHC サプリ事業について、体力測定	42
交流会	7月19日(金)	一期生から五期生までの交流	21

(イ) 元気あっぷリーダーフォローアップ研修

(単位：人)

区分	期 日	内 容	参加者数
第1回	10月24日(木)	血圧測定の実践と血圧異常時の対応について	32
第2回	12月6日(金)	認知症サポーター養成講座	28
第3回	3月25日(木)	元気あっぷ体操パワーアップバージョンについて ※中止(新型コロナウイルス感染拡大防止対策)	

ウ 元気あっぷ体操教室開催会場、回数及び参加者延べ人数・リーダー活動状況

(ア) 元気あっぷ体操教室開催会場：合計17会場

校 区	会 場 名
長 洲	磯の館、新山集会所、長洲町中央公民館、町民研修センター、出町集会所、ふれあい松原
清 里	駅通り区生涯学習センター、建浜区公民館
腹 赤	上沖洲公民館、腹赤公民館、腹赤新町学習センター
六 栄	赤崎公民館、古城学習センター、塩屋公民館、永方公民館、宮崎区ふれあい公民館、鷺巣公民館

※新規立ち上げ会場：長洲町中央公民館、駅通り区生涯学習センター、腹赤公民館

(イ) 開催回数及び参加者延べ人数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催回数	41	38	41	40	32	42	46	49	48	45	41	0
参加人数	417	370	432	431	233	427	456	483	492	449	442	0
年間合計	開催回数 463回 参加人数 4,632人											

元気あっぷリーダー登録者数 76人 元気あっぷリーダー活動者数 69人

(2) 協議体の設置について

地域における課題を共有し解決する場として、長洲町の協議体設置に向け、行政と協働で取り組みました。

ア 長洲町協議体の開催

視察研修の結果を踏まえて、第1回協議体を開催しました。

第1回長洲町第1層協議体の開催

・日 時：令和2年3月27日(金)午後1時15分から午後3時00分

・議 題：地域課題の整理・精査・現状報告

社会資源調査の必要性の確認、調査方法の検討

(3) 介護予防事業評価

長洲町介護予防事業である元気あっぷ体操教室について、有明地域リハビリテーション広域支援センターとの連携の下、元気あっぷリーダー、体操教室参加者及び長洲町老人クラブ連合会の協力を得て、体力測定等を実施し、客観的な分析・評価を行うことで、元気あっぷ体操による身体能力や生活機能、社会性等に対する効果を検証しました。

分析結果としては、元気あっぷ体操の効果はバランス機能の改善と運動機能の維持に効果があり、元気あっぷリーダーは特に運動器機能の維持・向上効果がより高いだけでなく、地域に出向き運動指導をする活動特性上、社会性・自己効力感が高まり、加齢による身体的・精神的虚弱（フレイル）要素が少なくなることで、より介護予防の効果があると分かりました。

今後の展望としては、元気あっぷ体操教室をより効果的な活動にしていくために、運動・精神のほかに口腔・栄養等、多要素の支援体制の整備と、加齢による虚弱・虚弱になる前の対象者を早期発見していくための運動器以外の評価内容の検討を行っていきます。
(単位：人)

期 日	内 容	参加者数
6月13日(木)	老人クラブ連合会へ協力依頼及び打合せ	4
9月17日(火)	長洲町中央公民館体力測定 (1回目)	19
10月29日(火)	駅通り区生涯学習センター体力測定 (1回目)	14
11月8日(金)	老人クラブ連合会定例会にて体力測定への参加依頼	30
12月12日(木)	老人クラブ連合会体力測定	29
1月14日(火)	長洲町中央公民館体力測定 (2回目)	11
2月4日(火)	駅通り区生涯学習センター体力測定 (2回目)	9

(4) 一般高齢者予防事業

ア 一般高齢者への介護予防教室の開催

開催延べ数 188 教室 参加者延べ人数 1,436 人

イ 認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催(奇数月第3木曜日) (単位：人)

期 日	参加者数	ボランティア	内 容
5月16日	21	16	舞踊、歌、絵画
7月18日	4	4	ミニ夏祭り
9月19日	23	17	コーラス披露、講話
11月21日	27	2	ものづくり(タペストリー)
1月16日	16	1	鏡開き、脳トレ
3月19日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止		

4 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス利用者へ目標志向型のケアプラン作成を行いました。

(単位：件)

年度	包括	委託
30年度	962	95
31年度	938	56
増減	▲24	▲39

5 通所型サービスA事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA事業を実施しました。

高齢者支援施設「げんきの館」において、住み慣れた地域での生活が継続できるよう

に、一人ひとりの利用者のニーズに合わせ、地域や各関係機関、専門職とのネットワークを活用し、予防的視点を重視した自助力・互助力の向上の支援に努めました。

ア 循環型サービスの仕組みづくりとして、自助力・互助力の機能を高められるようなサービス内容の工夫に努めました。

イ 介護サービスからの卒業(自立支援)に向けて、各関係機関と連携し、協働的かつ一体的な取り組みに努めました。

ウ 利用者の趣味や特技を活かせる内容として、「趣味活動の場」を提供し、利用者同士の相互の「教え合い、学び合う」関係づくりに向け、より一層の生きがいがづくりの提供に努めました。

エ 社会参加を推進するとともに、自分が住んでいる地域との絆を深めてもらうために、ご本人が持っている能力を維持継続できるように支援しました。

(2) 具体的な提供プログラム

ア 運動機能向上プログラムの導入

(ア) 有明地域リハビリテーション広域支援センターと連携し、「くまもとホクホク体操」を導入し、運動機能評価を定期的実施し分析を行い、今後の運動指導の方法を検討しました。

(イ) 利用者を地域活動につなげられるよう、自宅でもできる健康体操の継続に努め、それを含めた個別評価を行い、評価結果を基に個々の利用者への個別プログラムを検討しました。

イ 健康教室

町保健センター「すこやか館」と連携し、利用者の健康長寿に向けたプログラムとして、口腔ケアと栄養改善の講話を開催しました。

ウ 認知症予防プログラム評価

認知症予防活動として、脳トレプリントやウォーキング、イージーキューブ等を実施し、定期的に認知機能の評価を行ないました。

エ 個別プログラムの実施

(ア) 一般高齢者事業(介護予防教室)への自己選択による参加を支援しました。

(イ) 利用者の趣味・特技を活かせる場の提供で、利用者の役割やいきがづくりと利用者同士の教え合いで関係づくりができました。

(ウ) 菜園を作り、利用者による苗や種の植え付けや収穫を行い、おやつ作りやだご汁会等で還元しました。

(エ) 他事業所の理学療法士と通所A職員が連携し、利用者への個別リハビリを実施しました。

オ セルフケア確認による健康意識の向上プログラムの実施

(ア) 月間カレンダー(げんきカレンダー)の活用を行い、健康生活の習慣化に向け、一人ひとりの日常生活の状況把握や利用目標・生活上の留意点などの確認を行ないました。

(イ) 食事をされる利用者のために昼食のごはんつぎや帰る前に清掃を行う等、自宅でも行っている活動をげんきの館でも取り入れ、自宅での活動が維持改善できるようにしました。

カ 地域との交流活動の実施

(ア) 長洲こどもの海保育園園児との交流として、月1回「げんきの日」の開催と腹赤小学校児童との世代間交流活動を実施しました。

(イ) 小物づくりなどの趣味活動を通して、小物入れ等制作などを行い、利用者同士のつながりや世代間交流時のお礼の形で地域貢献に取り組む支援ができました。

(ウ) 季節行事として落ち葉で焼きも会として地域住民を招待し利用者との交流を図り

ました。また、だご汁会として町内住民をげんきの館に招待し、利用者が主体的に参加できる工夫として野菜収穫、調理等を企画から行い、げんきの館の周知啓発に務めました。だご汁会においては新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、開催を中止させていただくこととなりました。

(エ) げんきの館における敬老会の開催においては、地域住民のボランティアによる演技披露を通して、交流や地域とのつながりができるよう取り組みました。

(オ) ながす未来館にて開催されたふれあい地区社協合同研修会の講演会に参加し、また地域住民の販売する商品の購入などで、住民との交流を図りました。

キ 通所型サービス A 事業先進地視察研修

通所型サービス A 事業における実施状況と課題対策を目指すため、その先進地の取り組みについて視察研修を行いました。

視察研修先：玉東町社会福祉協議会 通所型サービス A 事業

(3) 年間利用状況

(単位：人)

区分	開所 日数	実利用者	(内 記)		新規者	延利用者	一日 平均
			要支援 1・2 認定者	基本チェックリスト 該当者			
4月	22日	57	16 (新規 0)	41 (新規 3)	3	248	11.3
5月	23日	58	17 (新規 0)	41 (新規 3)	3	233	10.1
6月	20日	64	18 (新規 0)	46 (新規 6)	6	248	12.4
7月	23日	64	28 (新規 1)	36 (新規 1)	2	283	12.3
8月	19日	65	27 (新規 0)	38 (新規 1)	1	222	11.7
9月	21日	66	28 (新規 1)	38 (新規 3)	4	260	12.4
10月	23日	66	27 (新規 1)	39 (新規 2)	3	268	11.7
11月	21日	66	27 (新規 2)	39 (新規 3)	5	254	12.0
12月	20日	71	32 (新規 4)	39 (新規 1)	5	272	13.6
1月	20日	71	32 (新規 1)	39 (新規 1)	2	256	12.8
2月	20日	68	30 (新規 0)	38 (新規 1)	1	248	12.4
3月	20日	72	33 (新規 0)	39 (新規 3)	3	261	13.1
年間	252日	788			38	3,053	12.1

・年間登録者人数：96人

・新規契約者実利用者：38人(年間新規契約者40人)

・利用者の変動：卒業1人 介護認定8人 入院14人 自宅療養10人 死亡1人
その他3人

※ 新型コロナウイルス対策による、公共施設の利用制限で、げんきの館も3月2日から31日まで休館となりました。そのため、通所サービスの利用者に対しては、スタッフが一人一人の健康状態や生活状況の確認に伺い、継続的に生活の支援をいたしました。

《ご自宅での利用者の声》

- ・週1回の訪問でしたが、心強く気もまぎれた。
- ・スタッフと会えて精神的に安心しました。本当に感謝しています。
- ・自宅に来てもらったことで、元気が出て体操も頑張ることができた。
- ・体調の変化などに細やかに気づかっただき、感謝します。